

日本橋川清掃活動（第30回） レポート

日時 2014年5月23日(金) 10:00~12:00

初夏の陽気の中、第30回の日本橋川河川清掃が実施されました。今回はアプレイザルの松下様のご協力により作業船のプレジャーボートを提供いただき、3槽にて活動を行いました。ルネッサンス委員会橋本会長はじめ、総勢45名の皆様にご参加いただきました。

河川状況は前日に降った雨の影響で水質や透明度は悪く、多量のオイルボールが浮遊していました。

生物では、カモメ、コサギを観ることが出来ました。

【主催】

- ・名橋「日本橋」保存会
- ・日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会
- ・常盤橋フォーラム

【参加者】

- ・OSYC/慶應大学
- ・割烹とよだ
- ・鹿島建設
- ・月刊日本橋
- ・清水建設
- ・千疋屋
- ・塚田企画
- ・日の丸自動車
- ・三井不動産
- ・三井共同建設コンサルタント
- ・三越伊勢丹
- ・三越環境ビル管理
- ・みらい建設工業
- ・室町一丁目町会
- ・明治座
- ・山本海苔店
- ・渡東
- ・中央区

【協力】

- ・(株)アプレイザル（作業船提供）
- ・舟宿「三浦屋」（作業船提供）
- ・東京都建設局第一建設事務所（ゴミの回収作業）

【2014年の予定】

- 7月16日(水)
- 9月19日(金)
- 11月21日(金)

次回もご参加、よろしく
お願いいたします。



【水質調査】

気象条件等

当日の天候	晴れ、気温 17.4℃、降水量 0mm
直近の降雨	5月22日 12時から 22日 21時にかけて合計 19.5mm
潮位・流向	236cm → 255cm、上げ潮時

水質調査結果

地点/項目	単位	目標	① 三崎橋	② 日本橋	③ 豊海橋
透明度	cm	200以上	40	100	110
COD	mg/L	5未満	8	8	8
臭気	-	1以下	3	2	1
リン酸態リン	mg/L	0.05未満	0.5	0.3	0.2
硝酸態窒素	mg/L	2未満	5	4	5
亜硝酸態窒素	mg/L	0.02未満	0.2	0.3	0.5
アンモニウム態窒素	mg/L	0.2未満	2.0	1.5	2.0



CODの目安

mg/L	0	0~5	5~10	10~20	20以上
評価	非常にきれい	きれい	少し汚れが入っている	かなり汚れがまわっている	汚れが進んでいる

臭気目安

-	0	1	2	3	4	5
評価	無臭	やっと感知できる	弱い臭い	強く感知できる	強い臭い	強烈な臭い

特に上流の透明度が低く、水質はほとんどの項目で目標値を上回っていた。

※水質調査結果は簡易試験（パックテスト）によるものであり、厳密な数値を示すものではありません。

用語解説

【COD】 水中にある物質が酸化剤で酸化や分解される時に消費する酸素量。値が高いということは水の中に反応しやすい物質が多い。
 【リン酸態リン】（評価の目安 きれい：0.05mg/L未満、0.05~0.2mg/L：少し多い）
 樹木や水草、食べ物のかす、肥料等のリンの一種の形態。生活排水、肥料、窒素とともに富栄養化の要因となる物質。
 【硝酸態窒素】（評価の目安 少ない：1mg/L、通常1~2mg/L前後）
 アンモニア、亜硝酸が酸化されることによって生成される有機性窒素体の最終生成物が硝酸です。水道法では亜硝酸態窒素と硝酸態窒素との合計量が10mg/L以下に規制されています。
 【亜硝酸態窒素】（評価の目安 きれい：0mg/L、通常：0.02mg/L以下）
 亜硝酸値が高い川の水は、近くに汚染源があることを推定させます。亜硝酸は酸素をとる力がたいへん強いので魚の体にも大きな影響を与えます。
 【アンモニウム態窒素】（評価の目安 きれい：0.2mg/L未満、少し多い0.5mg/L以上）
 タンパク質の有機物の分解によってできる。生活排水の汚れを示す1つの目安。アンモニウム値が高いということは、生活排水、工場排水、田畑からの肥料分が流入していることが考えられます。

＜ゴミの種類＞（※数値はごみの種類の傾向を示す）

・ビニール袋類	32	・空き缶	2
・おかし袋	30	・木の枝	1
・タバコの吸い殻	28	・ゴミフープ	1
・発泡スチロール	26	・ライター	1
・ペットボトル	11	・野菜	1
・紙パック	10		

・人為的に捨てられたものが殆どであった。
 ・前日の雨で、下水から多量のオイルボールやネズミの死骸が流出した。

＜確認された生物＞

- ・下流でカモメ類やコサギが確認された

